

読売新聞 きょう（7月23日）のイチ押し

1面など 東京五輪 きょう開幕

東京五輪は23日午後8時から、東京・国立競技場で開会式が行われます。国内での夏季大会は1964年東京五輪以来の2度目となります。開会式は大半の競技と同じように、無観客で催されます。

- ★ 大会では、200を超える国・地域と難民選手団の計約1万1000人が国際オリンピック委員会に出場登録しています。33競技339種目で熱戦が繰り広げられます。
- ★ 競技では22日、サッカー男子1次リーグが始まりました。南アフリカとの初戦に臨んだ日本は、久保選手の得点で1-0で勝ちました。
- ★ 一方、大会組織委員会は、開閉会式の演出で主導的な役割を担ってきた小林賢太郎氏（48）を解任しました。お笑いコンビとして活動していた当時、ナチス・ドイツによるユダヤ人大量虐殺をやゆするセリフをコントに使っていたことが非難されていました。

社会面 命救うはずの医者がなぜ ALS 囑託殺人 逮捕1年

難病の筋萎縮性側索硬化症（ALS）の女性患者に対する囑託殺人事件で、医師2人が逮捕されてから23日で1年になります。亡くなった女性の父親が本紙の取材に応じて、「命を救うはずの医者が、なぜあんな事件を起こしたのか。かなうなら直接聞きたい」と胸の内を語りました。

女性はネットを通じて医師と知り合い、「安楽死」を望む思いを伝え、医師に殺害を依頼したとみられています。父親は「たとえ娘に頼まれたとしても、なぜ説得してくれなかったのか」との思いが消えていません。

現在、囑託殺人事件について公判前の手続きが続いていて、まだ初公判の日程も決まっていません。

他紙と比べて

近年の解析技術の進歩で、ミイラの謎が次々と明らかになり、学術的な価値が見直されつつあります。「なるほど科学&医療」のページでは、大阪市で開催中の特別展「ミイラ 『永遠の命』を求めて」（読売新聞社など主催）を紹介しつつ、ミイラに関する、興味深い最新の知見の一部を解説しています。